

令和 5 年度 高等部 1 年 ( II 課程 A 類型 ) 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年1組 8名 1年2組 7名 1年3組 8名 1年4組 7名		新訂 新しい道徳 3

年間目標		(A:自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	・今の自分自身を見つめて、自分を知り、みんなに紹介することができる。【自分・人】	○今の自分を見つめて	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。
	5	・働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをすることができる。【自分・集団や社会】	○自分の役割と責任 ○勤労や奉仕を通して	・集団の役割を知り、自分の果たしている役割について考える。 ・校内・現場実習の体験を通して、働くことについて考える。
	5	・生命の尊さを知り、命あるものを大切にすることができる。【生命や自然】 ・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接することができる。【人】	○命あるものを大切に(慰霊の日にもむけて) ○礼儀正しく真心をもって	・沖縄戦の資料などを通して命の大切さや尊さについて考える。 ・伝統的な礼儀作法や日常的な礼儀作法について学び、相手に心を伝える作法について考える。
2 学期	7	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力することができる。【自分】	○希望と勇気をもってくじけずに ○短所を改め、長所を伸ばして	・偉人のエピソードから、目標を持って一步一步努力していくことの大切さについて考える。 ・自分の長所短所について考え、自分らしさや個性を発揮するにはどうすればよいか考える。
	7	・家族の幸せをもとめて、進んで家族の役に立とうとすることができる。【集団・人】 ・自分の郷土の伝統と文化にふれ、郷土を愛する心を持つことができる。【集団・生命自然】	○家族の幸せをもとめて ○郷土を愛する心	・家族のよさについて考えて、家庭の中で自分ができることを考える。 ・沖縄の文化や自然にふれる。
3 学期	3	・先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力しあって、よりよい学級や学校にするために、進んで行動することができる。【人・集団】	○よりよい校風をもとめて	・学校の良いところをみんなで話し合い、よりよくするためにはどうすれば良いのか、考える。
	6	・自律的に判断し、責任のある行動をすることができる。【自分】 ・自分の行動や学習を振り返ることができる。【自分】	○自律的で責任ある行動を ○振り返り「心の木大きくなったかな」	・自由について考えを深め、自由だからそ気をつけるべきことは何かを考える。 ・自分の行動を振り返る。授業態度や生活態度、言葉遣いや人間関係など。
留意点 引継ぎ等				

令和 5 年度 高等部 1 年 ( II 課程 B 類型 ) 特別の教科 道徳 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
35	1年5組 4名 1年6組 5名		小学 どうとく ゆたかな心 4年

年間目標	(A:自分自身に関する事) 望ましい生活習慣を身に付け、自主・自律の精神を重んじ、責任ある行動をする態度を養う。 (B:人との関わりに関する事) 礼儀正しく、思いやりをもって人と接するとともに、広い心をもって異なる意見や立場を尊重し、経験を通して人間関係を築いていく態度を養う。 (C:集団や社会との関わりに関する事) 法やきまりの意義を理解し、社会の一員として働くことや社会参加することの充実感を味わう態度を養う。 (D:生命や自然、崇高な物との関わり) 自然の偉大さやかけがえのない生命の尊さを理解し人間として生きる喜びを感じる心を育てる。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	・新しい先生や友達に自己紹介ができる。【自分・人】 ・気持ちの良い一日を過ごすために、何が大事か考えることができる。【自分・人】	○自分のことを書いてみよう ○気持ちの良いふるまいを	・「道徳ファイル」を作成し活用する。 ・名前や特技、好きな食べ物など自分のことを、相手に知ってもらう。 ・絵を見ながら様々な場面でどういう挨拶をすればよいか考える。
	4	・机やロッカーなど身の回りを確認し、どうすれば良いのか考えることができる。【自分】 ・働くことの良さを知り、みんなのために働くことができる。【集団・社会】	○身の回りの整理整頓をしよう ○働くことの良さを感じて	・机やロッカーなど身の回りを見て、整理整頓を行う。 ・学校の当番や家のお手伝いについて考える。
	4	・どんな生き物にも、命があり大切にすることがわかる。【人・生命】 ・良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んでやることできる。【自分】 ・自分のやるべき勉強や仕事をきちんとすることができる。【自分】	○命あるものを大切に(慰霊の日にむけて) ○良いと思うことは進んでやろう ○自分でやることはしっかりやろう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃どんな人にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
2 学期	7	・働くことの良さを知り、みんなや家族のために進んで手伝いをすることができる。 ・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に扱うことができる。【自分・人・社会】 ・家族など日頃世話になっている人に感謝することができる。【人・集団】	○働くことの良さを感じて ○家族の役にたつことを ○きまりを守って ○お世話になっている人に感謝しよう	・自分の係や当番をした時の気持ちや周りの家族や友だちの反応について考える。 ・身の回りのきまりや約束を確認し、守らないとどうなるかを考える。 ・日頃誰にお世話になっているかを考えて、ありがとうカードを作成する。
	7	・芸術にふれ、美しさや良さを味わい、すがすがしい気持ちになることができる。【生命や自然】 ・生活リズムを振り返ることができる。【自分】	○すがすがしい心で ○自分の生活を振り返ってみよう	・音楽鑑賞を通して芸術に親しむ。 ・睡眠や食事、運動などについて自分の生活リズムを振り返る。
3 学期	5	・沖縄の文化や生活に親しみ、愛着をもつことができる【集団・生命】 ・身近な人に温かい心で接し、親切にしたり助け合ったりすることができる。【人】	○ふるさとに親しみを持って ○あたたかい心で親切に	・沖縄の言葉や食べ物、遊びなどに親しむ ・様々な関係の人たちにそれぞれどのように接すればよいか考える。
	4	・友だちと仲良くし、助け合うことができる。【人】 ・自分の行動を振り返ることができる。【自分】	○友だちと仲良く ○振り返り	・友だちとの楽しかった思い出を絵や文に書く。 ・一年間を振り返る。
留意点 引継ぎ等				